

一般質問

議員 難病患者さんが自立して生きている実感を得るには、一人ひとりの状況を考慮したきめ細やかな支援が求められます。県・村の支援の現状、村独自の就労支援ならびに現行の医療費実費助成から全員対象の見舞金制度への移行について考え方を伺います。

福祉部長 県では特定疾患治療研究事業対象の56疾患に所応に付した医療費助成を、また保健所、難病センターや筑波大学附属病院での難病相談に応じています。

村は独自に特定疾患、関節リウマチと精神の治療をされている方に月額4000円を限度に医療費助成や、在宅患者のホームヘルプサービス、生活用具給付、ショートステイ、通院時タクシー利用料への助成を実施しています。

また現在、東海村障害者自立支援協議会の就労部会で、障がい者の就労支援に関し村独自の支援を含め、議論、討議を重ねています。難病の方の中には障がいをお持ちの方もおられ、就労の場の創出が重要な課題



難病患者支援の拡充、特に就労支援の重視について

日本共産党 大名 美恵子 議員

であると認識しています。個別相談も対応の中で、どのような支援が可能か検討していきたいと考えています。

医療費実費助成は、長期治療で身体的負担の大きい方への支援が目的です。年々利用者が増加しており、当面は現在の支給方法を継続していきたいと考えています。

議員 就労支援は、相談だけでなく体調に合わせて実際に働ける場の確保が求められています。仮に民間事業所と村との間で協議し、村の支援も図りながら何件か確保する、また村独自に雇用を検討するなど患者の生きることにそのものへの支援として求められています。村民生活を重視した本村ならではの発想が重要です。

福祉部長 自立支援協議会の就労部会で、相談を受けた中で検討の材料として進めていきたいと考えています。



旧白方小学校について

新和とうかい 河野 健一 議員

議員 旧白方小学校解体後の跡地利用、および今後のスケジュールを伺います。

理事兼企画政策部長 跡地利用については、整備方針をまとめています。耐震性の観点からすべてを解体した上で、一時的貯留施設を整備し、公園を整備していくという方針です。スケジュールについては今年度校舎の解体工事を予定しています。

議員 今年度の解体ということで、間もなく工事が始まることと思いますが、残されている卒業記念作品やタイムカプセルなどの取り扱いについて伺います。

教育次長 教育委員会では新校舎への引越の際に学校と協議し、取り外す際に壊れてしまうような移設が困難なものと、原型を変えずに移設できるものを選別いたしました。その上で移設できなかったものは写真撮影による記録保存をいたします。タイムカプセルにつきましては、関係者の代表の方が解体前に掘り起こすと聞いております。また、移設困難と判断したものの中には、

卒業生の思い出が詰まった記念作品もあることは承知しておりますが、やむを得ずこのような判断をしたことをご理解いただきたいと思います。

議員 確かに、残されている卒業記念作品については校舎の壁に埋め込んであったり、外にあるレンガの花壇であったりと移設が困難であるということは私も確認して分かりました。しかし、卒業生の中にはもう一度自分を通った校舎や記念作品を見てみたいという意見や、校舎を惜しみ何かイベントなどを行ってはどうかという話も出てくるようなので、解体前に学校開放を行ってはどうかと思えますが考えを伺います。

教育次長 現在、電気、水道などが全部止まっています。そのような状況なので幾つかの制約があると思いますが、卒業生の皆様、地域の皆様との間で気運が高まり、実現できる情勢が整った場合には教育委員会としても何らかの協力はしていきたいと思えます。

※8月14日(土)、旧白方小学校が一般開放されることとなりました。